

地域経済・産業

激動の10年

この10年は、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界規模で影響を及ぼすなか、本市においてもこれまでに経験したことのない激動の10年となりました。東京圏への一極集中を是正し、地方分散型の活力ある地域社会の実現に向けて、本市のような地方都市の果たすべき役割は益々大きくなっています。

本市においては、京都舞鶴港の物流機能強化が着実に推進されるなか、国際コンテナ航路等の活用を見据えた新規企業の立地や市内企業の積極的な設備投資が行われているほか、平成31年に赤れんがパーク内にコワーケーションスペースを開設したことを契機に、IT関連企業が進出し地元採用するなど、舞鶴でも都市部と同様に最先端の仕事ができる環境が整いつつあります。

舞鶴の地域経済を支える地元企業

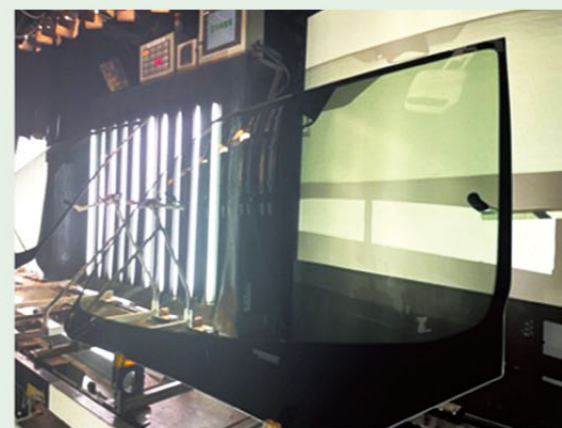
舞鶴市には、独自の技術やサービスで都市部の大企業や消費者から高い評価を受けている企業や、従業員のキャリア育成や柔軟な働き方の導入、やりがいづくりに工夫を凝らしている魅力的な企業がたくさんあります。そのような企業を地域の若者にPRする取り組みとして「まいづるグッドカンパニー」がスタートしました。

また、市内企業の人材不足が大きな課題となっているなか、地元就職支援の取り組みの一環として、株式会社リクルートと包括連携協定を締結し、市内企業へのUIJターン就職を推進しています。

まいづるグッドカンパニーとは…

地域企業としての意識（ローカル・カンパニー・プライド）の向上と魅力的な企業（仕事）の認知拡大を図るため、自社が有する唯一無二の魅力再認識し発信する取り組みを進めています。

積極的な設備投資



▲日本板硝子(株)舞鶴事業所
自動車ガラス貼り合わせラインを増設



▲ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
生産工場を増設



▲舞鶴倉庫(株)
21号倉庫を新設



▲弥栄電設工業(株) 光回線接続体験



▲萬工業(株) 工場見学



▲ジャパン マリンユナイテッド(株)
溶接体験



ジョブ・サポート まいづる

舞鶴で働きたい人の総合窓口。ハローワークや府の北京都ジョブパークと連携して一人ひとりに寄り添った就業支援を行っています。

IT企業の進出

IT技術の普及により、地方での生活を楽しみながら都会と同等の仕事ができるようになりました。舞鶴でも舞鶴赤れんがパーク3号棟にIT企業が進出しており、市内からの雇用も生まれています。



▲インフォニック(株)舞鶴支社

(株)リクルート社との連携協定

舞鶴市と(株)リクルート社が連携し、市内企業等を対象とした採用力向上セミナー開催、魅力的な採用ホームページ作成等の支援を通じ、市内事業所の魅力の可視化と求人募集情報の発信力強化を進めます。



京都労働局との雇用対策協定締結

京都労働局と地域経済の活性化及び雇用情勢の改善に資する取組を推進することを目的とした「舞鶴市と京都労働局との雇用対策協定」を締結しました。



▲ふるさと納税返礼品

ふるさと納税寄付額の推移



ふるさと応援寄付金 財源充当事業

舞鶴市では寄付金を活用し、個性豊かで魅力あるまちづくりを推進するために、連綿と引き継がれてきた歴史・文化の次世代への継承や「子育てしやすいまち」の実現に向けた子育て環境の充実、豊かな農水産物のブランド化の振興等に活用しています。



豊かな地域資源を活かしたふるさと納税

平成20年から始まったふるさと納税制度。舞鶴市でも豊かで魅力あふれる豊富な地域資源を活かしたふるさと納税返礼品の開発が進んでおり、本市を応援する人々の寄付を活用し、個性豊かで魅力あるまちづくりを推進するために活用されています。

豊かな地域資源を活かした新しい取組

地域資源を活かした新しい取り組みも着実に進んでいます。農林水産業では舞鶴発祥の京野菜「万願寺甘とう」の販路拡大にむけ、市とJA、万願寺甘とう生産部会ではブランド化に取り組んできました。そのような中、2017年に地域で長年培われた生産方法や気候・風土等の生産地の特性により高い品質と評価を獲得した産品を国が知的財産として認定・保護する制度であるGI（地理的表示）に京都府内で初めて登録されました。また、漁業においても「丹後とり貝」や「丹後の海育成岩がき」のブランド化が進み舞鶴を代表する食材に成長しました。



IoTを活用した新たな取組

舞鶴市とKDDI株式会社は2018年に地域活性化を目的とした連携協定を締結しスマート農業・漁業の普及に取り組んでいます。

【農業分野】

2020年3月から京都府中丹東農業改良普及センター、株式会社Momo、舞鶴万願寺甘とう部会と共に高収量生産者のハウス環境データの見える化、情報共有により各生産者の生産能力の底上げを図ることを目指し、スマート農業を活用したモニタリング事業の実証を開始しました。

【漁業分野】

2023年7月から京都府漁業協同組合とKDDI株式会社と共に、「丹後とり貝」の品質向上と増産を目指し、IoTを活用した漁場モニタリングを開始しました。



山と海に囲まれた舞鶴の豊かな自然がはぐくむ農林水産物

由良川流域で栽培される舞鶴茶は葉薄で色、香りに優れており、全国茶品評会では10年間で7回の産地賞を受賞しています。

また、年間を通じて様々な漁法で多種多様な水産物がとれます。中でも鯖は「京鯖」として有名です。





▲かまぼこづくり体験



▲日の出湯



▲吉原入江

舞鶴市のインバウンド

日本を訪れる外国人旅行者は新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年には年間3千万人以上に達しており、舞鶴にも多くの旅行者が訪れ、舞鶴ならではの歴史文化を体験できるツアーが人気です。



▲まいづるフェスタ in 丸の内 (令和5年10月)



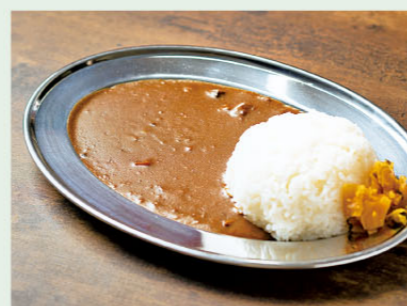
魅力的な観光資源にあふれた舞鶴をPRするために東京や大阪といった大都市でのプロモーション活動にも力を入れています。

大都市で観光プロモーション



舞鶴赤れんがパーク

舞鶴鎮守府(明治34年開庁)の軍需品等の保管倉庫として建設された建物を活用し、市民が誇りに感じ、また、多くの人に訪れてもらえるエリアを目指しています。令和4年から民間活力を導入した新たな管理運営がスタートしました。



自衛隊施設の見学

舞鶴市では自衛隊基地のあるまちとしての特徴を生かし、海上自衛隊舞鶴地方総監部の協力のもと、施設の見学や自衛隊グルメの普及等に取り組んでいます。遊覧船から間近にみる護衛艦は圧巻です。



歴史・文化を生かした観光への取組

旧海軍の基地である舞鶴鎮守府が置かれ日本の近代化の歴史を体感できる街並みが残る東地区。一方で「もうひとつの関ヶ原」の舞台となった田辺城趾が残る城下町の風情を感じられる西地区。舞鶴は異なる2つの歴史文化ストーリーを体感できる唯一のまちとして歴史・文化を生かした観光振興を進めています。